

《履修上の留意事項》これまでに修得した学習内容を復習しつつ、知識を整理統合することを目的とすることから、しっかりとした学習習慣を身につけ、規則正しい生活リズムで授業に出席すること。

注意
歯科医師国家試験出題基準の改定に伴う変更は随時行います。

《担当者名》 責任者：教務部長
一般基礎科目、専門基礎科目及び専門臨床科目を担当する教員（別途、配付する時間割を参照）

【概要】

基礎歯科医学、基礎医学及び臨床歯科医学を基盤とした歯科医学の集大成のために、基本的知識を復習し、知識を整理する。

【学修目標】

基礎歯科医学と臨床歯科医学にとって必修となる基本的項目について説明する。
基礎歯科医学と臨床歯科医学の総論的・各論的項目について説明する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 88	必修の基本的事項	以下の項目について説明できる。 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム 2 社会と歯科医療 3 予防と健康管理・増進 4 歯科医療の質と安全の確保 5 診療記録・診療情報 6 人体の正常構造・機能 7 人体の発生・成長・発達・加齢 8 医療面接 9 主要な症候 10 診察の基本 11 検査の基本 12 臨床判断の基本 13 初期救急 14 主要な疾患の病因・病態 15 治療の基礎・基本手技 16 チーム歯科医療 17 一般教養的事項（医学史、歯科医学史、医学・医療に関する人文、社会科学、自然科学、芸術などに関連する一般教養的知識や考え方、診療に必要な基本的医学英語） 18 災害	別紙時間割に掲載の担当者
1) 84	歯科医学総論	保健医療論 健康管理・増進と予防 人体の正常構造と機能 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 発生、成長、発達、加齢 病因、病態 主要症候 診察 検査 治療 歯科材料・歯科医療機器	別紙時間割に掲載の担当者
1) 72	歯科医学各論	歯科疾患の予防・管理 齲蝕の予防・管理 成長発育に関連した疾患・病態 不正咬合 歯・歯髄・歯周組織疾患 齲蝕・硬組織疾患 歯髄・根尖性歯周組織疾患	別紙時間割に掲載の担当者

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		歯周疾患 顎・口腔領域の疾患 主として軟組織に関連する 疾患の病態と治療 主として硬組織に関連する 疾患の病態と治療 主として機能に関連する 臓器の病態と治療 主として全身に関連する 疾患の病態と治療 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害と その他の口腔・顎顔面の機能障害 (高齢者の歯科補綴治療を含む) 高齢者の歯科診療 高齢者の歯・歯髄・歯周組織の疾患 高齢者の軟組織に関連する 疾患の病態と治療 高齢者の硬組織に関連する疾患 高齢者の機能に関連する臓器の病態と 治療 高齢者に多い留意すべき全身疾患 高齢者の摂食・嚥下機能に関する 障害と治療	
1) 105	補充講義	上記の各テーマの授業内容及び学習課題について深く説明できる。	別紙時間割に掲載の担当者
1) 120	ローテーション	歯科医学に関する基本的、総論的、各論的知識に基づいて診療に必要な実地的項目が順序立てて説明できる。	別紙時間割に掲載の担当者

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

試験（100%）

【教科書】

公衆衛生がみえる 2022-2023

【備考】

各授業において知識の整理に役立つプリント類を配付する。
 クリッカーを活用し、授業時間中にその場で学生の理解度を把握する。

【学修の準備】

予習として、次回の授業範囲の教科書を読んで、上記【学習内容】の項目について理解しておく（80分）。
 復習として、理解できていない講義項目を明確にし、教科書、プリントなどを活用し、知識を整理し確実なものにしておく（80分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1. 安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。
 (専門知識に基づいた問題解決能力、患者ケアのための診療技能、情報・科学技術を生かす能力)
 DP2. 「総合的に患者・生活者を支える歯科医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている。
 (総合的に患者・生活者をみる姿勢、プロフェッショナルリズム、コミュニケーション能力)
 DP3. より安全で質の高い歯科医療を実践し社会に適応する医学を創造していくために生涯にわたって自己および他の医療者との研鑽を継続しながら医療者教育と学術・研究活動にも関与できる能力を身につけている。
 (科学的探究、生涯に渡ってともに学ぶ姿勢)

DP4. 多職種（保健、医療、福祉、介護）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる能力を身につけている。

（多職種連携能力）

DP5. 歯科医療の専門家として、経済的な観点・地域特性を捉えた視点・国際的な視野を持ちながら活躍できる能力を身につけている。

（社会における医療の役割の理解）